※文字の大きさは Meiryo UI ／12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。
※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、（写真１）（表１）などと文中に記載し、右ページに（写真１）（表１）などと表記の上、貼り付けてください。
※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。
※いずれの場合も、必ずＡ３片面１枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは５MB 以下としてください。

※事務局記入欄
No. 72

【様式２】

エントリー学校名：茨城県日立市立久慈中学校

活動名：ガイダンスシートの導入　～学習単元を意識するための工夫～

解決すべき課題：

本校の学習指導における教師の課題である「単元計画表の作成が十分とは言えない状況」に着目する。そのために，生徒が単元の見通しをもって学習に取り組めない状況や学習を通してどのような力を身に付けたかが明確にならない状況が生じている。この課題を解決するために，「ガイダンスシートの作成」を提案する。まず生徒に身に付させたいゴールを設定し，その達成に向かうための「逆向き設計」の考えを取り入れたシートを作成する。これらを生徒と共有し，学習の見通しを持つとともに学ぶ意欲が高まるためのガイダンスシートの導入・工夫を行う。

目標・方針：

Guidance（ガイダンス）は，「案内・指導・手引き」と訳されるが，このガイダンスシートが，学習者にとって「学習単元を意識する手引き」となることを目標とする。①前単元からのながり②単元の学習計画・内容③毎時間の振り返り④単元のゴール⑤次単元へのつながり⑥他の教科との関連⑦単元を通しての振り返り⑧教師からの評価，の８項目を１枚のシートで完結させる。【図１】このガイダンスシートを用いれば，指導者と学習者両者にとって単元を意識した学習が行えると考える。

活動内容：

令和２年１月より，現３年生を対象にガイダンスシートの活用を行った。本年度４月からは，校内研究の一つに位置づけ，学校全体の取り組みとしている。現３年生は，約９ヶ月間このガイダンスシートを活用しており，その生徒を主な調査対象とし，調査・検証を行った。

具体的なガイダンスシートの活用方法は，各教科の単元の最初に，生徒と教師が単元を見通すための時間を設ける。【写真１】そこで，「単元末のゴールを示し，この単元を通してどのような力を身につけるか，そして単元末にどのような評価をするか」を共有する。毎時間の授業後に記入した振り返りを用いて，単元の終了後には，どのような力が身に付いたか，他の教科との関連性や実生活で生かせることなどの振り返りを行う。最終的に，単元テストやパフォーマンステスト等の評価を加味し，単元の理解がどうであったかなど教師からの評価を記入し，生徒に返却する。回数が増すごとにガイダンスシートの活用の工夫も見られた。【写真２】

活動の成果：

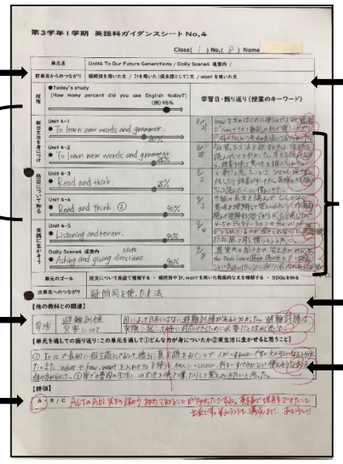
大きな成果として，まず教師側が「単元」を意識した点である。本校の課題であった「学習単元表の作成が十分とは言えない状況」を改善する手立てとなった。事後のアンケートによると教師側が，単元のゴールを明確に提示しバックワードデザインの考えで単元構成することができた，と全員の教師が回答した。そして，生徒へのアンケートでは 91%の生徒が，「単元を意識して授業を受けるようになった」と回答している。これまで授業で使っていた自己評価カードと違う点として，「他の教科との関連」と 78%の生徒が回答した。これは教師側の予想を上回ったもので，社会や理科だけではなく，道徳との関連を記述した生徒がいたこと非常にうれしく感じた。【資料１】【写真４・５】また，来年度より全面実施となる学習指導要領の「指導と評価の一体化」を図ることができるツールとなったことが成果だと感じている。学年末に評価するだけではなく，①学習評価の妥当性や信頼性を高めるとともに，生徒自身に学習の見通しをもたせるため，学習評価の方針を事前に生徒と共有する場面を設ける。②学習評価を単元や題材などの内容や時間のまとまりごとに行うなど，評価場面を精選する。といった課題に対して学校一体となり共通理解し，実施することができた。

アピールポイント（アイディアや工夫）：

・本ガイダンスシートが，以下の８つの項目を網羅している点。①前単元からのながり②単元の学習計画・内容③毎時間の振り返り④単元のゴール⑤次単元へのつながり⑥他の教科との関連⑦単元を通しての振り返り⑧教師からの評価の８項目を１枚のシートで完結している点。

・新学習指導要領における，「指導と評価の一体化の必要性を明確化」を踏まえ，単元や題材などの内容において適宜評価をするため，適切な評価の場面の一つとなる点。

＜写真、図表添付欄＞



１年は，小中接続を意識し，小学校の授業内容を示した。

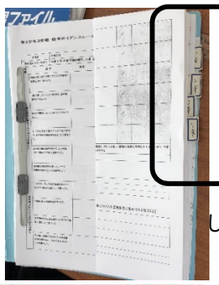
単元を通して①どんな力が身に付いたか②実生活に生かせると思うことを記述する。

各教科とも A.B/C の評価方法は最初の授業で確認をする。

【図１】ガイダンスシートの実際（英語科）

【写真１】単元のガイダンスを行っている様子（数学科）

【写真２】



学習ファイルに章ごとにインデックスを貼り，さらに学習単元を意識させる工夫をしている例。教科の特性を生かした工夫もされている。

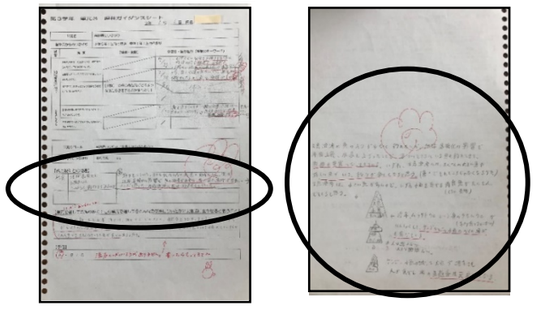
英語科 Unit4 To Our Future Generations の「他の教科との関連」生徒記述抜粋

・社会：災害での被害の大きさを学ぶことができた。

・学活：もし自分が海外にいるときに災害が起こっても少しは対応できると思った。

・道徳：大きな災害があって中澤さんにも戸惑いがあるのに流木でバイオリンを作り，誰かのために何かをしようと行動しているところを尊敬する。

・音楽：震災で出た流木から作ったバイオリンがたくさんの人・音楽に広がり素晴らしい。　**【資料１】**



【写真３（表）・４（裏）】生徒の理科のガイダンスシート・「自然界とのつながり」は，他の教科との関連を社会科地球温暖化ととらえ自身の好きな釣りと海面の温度に関する内容が裏面にまで書かれている。